

市民ワークショップ(移住者) 『五泉市を住みよいまちにするには?』のまとめ

■作成
五泉市企画政策課

■ワークショップの開催概要

目的	「第3次五泉市総合計画」及び「人口ビジョン・総合戦略」の策定にあたり、広く市民の方から意見をお聞きすること。		
日時	令和7年7月29日(火) 19:00~21:00	会場	さくらんど会館 多目的ホール
参加者	16名(移住者)		
内容	説明	①ワークショップの目的(総合計画と総合戦略) ②現行計画の概要(総合戦略概要) ③五泉の人口動向、市民アンケート結果	
	意見交換	1ラウンド『五泉市の魅力と課題はなに?』 2ラウンド『移住定住や交流人口を増やすには?』	



会場全体の様子

■意見交換の結果

現状の五泉市の魅力(強み)と課題(弱み)を4つのテーマ(子ども・未来、産業・活力、資源・魅力、生活環境)ごとに話し合いました。その後、強みを伸ばし、弱みを解消(または活用)し、人口減少の抑制や交流人口の増加につながる具体的な対策・新たな提案を話し合いました。最後に、五泉市の新たな将来像(キャッチフレーズ)を出し合いました。

※太文字は同様の意見が複数挙げられたもの

凡例: ●A班の意見 ◆B班の意見 ■C班の意見

テーマ	第1ラウンド: 五泉市の魅力と課題はなに?		第2ラウンド: 移住定住や交流人口を増やすには?
	魅力・強み	課題・弱み	対策・提案
子ども・未来	<ul style="list-style-type: none"> ◆保育園が多く、待機児童ゼロ。のびのび遊べる。 ●転校生への学校の対応がきめ細やか。 ●◆人口が少なく、子どもや親の環境に良い。 ◆小学校内の寺子屋で、勉強を教えてくれる。 ◆給食がすべて地産地消、安全で美味しい。 ◆習い事の種類は限られ、どれを習うか悩まない。 ◆子どもの送迎は車が中心で、交通面では安心。 ●子どもたちが参加できるイベントなどが多い。 ●地域の人たちが子どもを大切にしてくれる。 ■地域の見守り隊いることで安心感がある。 ◆ファミリーサポート等子育てサービスが充実。 ◆ラポルテ五泉がある。 ◆新潟大学農学部があり、農業を学べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●産科がなく、新津や新潟市に行かなくてはいけない。 ◆産院がなく五泉で子どもを産めない。 ◆子どもの人数が少なく、市の学力や教育レベルを判断しにくい。 ◆子どもの医療費が無料ではない。 ■子どもの医療費530円で統一しているが、それでも高く感じる。 ◆通学の範囲が広く、学校まで遠い。不審者等も怖い。 ◆塾の選択肢がない。ハイレベルな塾は新潟市まで行かないと。 ◆ラポルテ五泉は小学生が思い切り遊べる場所べない。 ◆プレイラボみつけのような小学生向けのあそび場がない。 ◆水遊びできるあそび場がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆保育園の待機児童ゼロや園庭遊びができることなど、のびのびと子育てができることをもっとアピールする。 ●五泉の特色を活かし五泉ならではの子育て支援策を打ち出して、移住を促進させる。 ●子育てに充実していることを色々な方法でアピールする。 ◆寺子屋やスポーツ教室があることをもっとPRする。 ◆子どもの医療費を無料にする。 ■高校まで医療費無料。
産業・活力	<ul style="list-style-type: none"> ●◆里芋やれんこん、キウイなどの特産物が新鮮で美味しい。 ◆生産者に情熱があり、技術やこだわりを持つ。 ●■五泉といえば「ニット」と言われるほど有名。ニットについて小学校で学ぶなど身近な存在。 ◆起業や活動をすれば競合がないので目立つ。 ◆個人経営の店舗が多く、オーナーが個性的。 ◆個人店が多く、ここにしかないような物も販売。 ◆テナントの家賃が安く、起業の補助金もある。 ■クリエイティブな人が多く、フリーランスのコミュニティがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●若者用のお店や仕事がなく、それを増やす工夫が足りない。 ■就職先が少なく、大きな工場に限られている。 ◆ニットを売る場所が少ない。 ◆良い商品はあるが、生産者が高齢などで発信する手段がない。 ◆良い商品がたくさんあるがPRするプラットフォームがない。 ■地域の商品や良いものをPRする力が弱い。 ◆楽天やAmazonなどでの商売を求めている生産者もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆新規就農や既存の農家への支援を拡充し、農家の給料をあげる。 ◆農業の法人化を推進することで、ノウハウも継承でき、経営も安定する。 ◆農家を公務員化し、給料もしっかり補償できるようにする。 ◆オーガニック野菜や米栽培をもっと盛んにし、学校給食でも使う。 ●地元の人にニットを着てもらうきっかけをつくる。 ●外国人観光客向けのニット販売を行う。 ◆インスタなどを使い、ニット産業のPRを強化する。 ◆産業維持のためにも、ニット産業や従事者への支援を手厚くする。 ◆産業について、どうしたら売れるか、アンケートで市民意見を取り入れる。 ■商店街の有効活用(テナント貸し)。



A班意見交換の様子

意見交換の結果（つづき）

凡例：●A 班の意見 ◆B 班の意見 ■C 班の意見

テーマ	魅力・強み	課題・弱み	対策・提案
資源・魅力	<ul style="list-style-type: none"> ◆山や林などの自然が多く、景色が良い。 ◆山や川もあり、自然が豊か。 ●近くにきれいな早出川があり、遊びに行ける。 ■水が綺麗で美味しい。 ■水が綺麗なことで野菜やお米が美味しい。 ◆水道水が井戸水で冷たく美味しい。 ◆蛇口から水が飲める。 ◆水が美味しい。 ◆空が綺麗。 ◆空気が綺麗。 ■農作物が豊富である。 ■桜やチューリップ、ぼたんなど春の観光資源。 ●無料のキャンプ場がいくつかあり魅力的。 ■温泉が近くにたくさんある。 ●お祭りがいくつもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■年間で春の観光シーズン以外の集客、観光資源が少ない。 ◆水道代が高い。 ●五泉独自の観光地やお土産がない。 ●五泉はこれといった特別なものがない。 ●わざわざ来たいと思ってもらえるものが少ない。 ■映画など娯楽施設が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●■自然を活用した季節のイベントを大切に、交流人口アップ。 ●◆自然や水などお金で買えないものをどんどんPRする。 ●豊かな自然を活かしたレジャー施設を作って観光アピールにする。 ●■なにもないことが魅力を感じる人に向けた五泉のアピールをする。 ■チャレンジランド杉川をアウトドアやキャンパー向けにPRする。 ■春の観光シーズンに地域をめぐり、お金を落としてもらう。 ●五泉にしかないお土産を開発し有名にする。 ◆サウナやプロテインなど流行に乗り、五泉のオリジナル商品をつくる。 ■市外の人でも参加しやすいイベントや短期滞在施設をつくる。 ◆県外のイベントなどに出席し、市の魅力発信・産業体験ブースを開催。 ◆移住者の目線で五泉の良さを発信することで移住者をもっと増やす。 ◆廃校を子ども向けの施設や宿泊・グランピング施設に有効活用する。 ◆五泉PR大賞などのプロジェクト化、インフルエンサー等に発信依頼。 ◆頑張っている若者をPRし、空き店舗の安価提供や応援する人を増やす。 ●子どもをSNSやネットから隔離できる施設を作り、売りにする。 ◆五泉市民の声を聞けるネット掲示板で、反響が多い施策を検討する。 ■水や地場野菜のおいしさをSNSでPR、ラポルテ五泉等での直売。 ◆五泉出身のガンダムの監督とコラボし映えスポットをつくる。
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ●夜は静かで過ごしやすい。 ●豊かな自然がありレジャーや癒しになる。 ●夜空の星がとてもきれい。 ■地震に強く、地盤が安定していると感じる。 ■人混みが少なく、ストレスを感じにくい。 ●外で家族で遊ぶことで、ネット環境から離れる。 ■治安が良い。 ■見守りや助け合いといった近所住民の交流。 ●新潟市に近いので買い物などにとても便利。 ◆■スーパーやドラッグストアなど買物が便利。 ◆歯医者が多い。 ◆図書館の本のセンスが良い。 ◆市民向けのスポーツ教室などあり、料金も安い。 ■地元の食堂など、どの飲食店も美味しい。 ●交通量が少なく交通事故などの心配は少ない。 ◆戸建ての借家がある。 ■衣食住が高クオリティー、必要なものが揃う。 ■仕事で人と繋がると、人間関係が広がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■冬の除雪が大変で、仕事に行くよりも除雪を優先したい。 ◆市内の働き口が少なく、市外に就職する人が多い。 ◆■産科や乳腺外科など女性のための医院が少ない。●◆交通の便が悪い。電車の本数が少ない。車がないと不便。 ■医療機関が充実していない。 ■夜間に診てもらえる小児科がない。 ●夜遅くまでやっている飲食店や温泉がないので楽しめない。 ●大型の商業施設がないので買い物に困る。 ●カフェなどの人が集えるようなお店が少ない。 ◆朝食が食べれる店や気軽に子どもと行けるチェーン店が少ない。 ◆コンビニが減っていている。 ◆シャッターが閉まっているお店が増え、商店街が寂しい。 ■ファミレスやカフェチェーン、ひと休みできる飲食店が少ない。 ●宿泊施設が少ないので県外の友人を呼びづらい。 ■分譲地だと若者同士、挨拶もなく、近所との交流がない。 ◆ゴミが落ちている。 ◆空家が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆関東からの至近性をアピール、移住や二拠点生活のハードルを下げる。 ●公共交通を充実させることで、住みやすさを向上させる。 ◆新潟市まで車で10分程度で行けて、安心であることをアピール。 ●駅の駐車場を無料にすると電車利用が増える。 ◆道路整備など公共投資を行う。民間の仕事が増えて働き口も増える。 ●五泉市、新潟市の近場の人が五泉に詳しくなれる情報を発信する。 ●家賃の安さをアピールする。 ●コンパクトな一人暮らし用の賃貸を増やすと、若者が住みやすい。 ●空き家をリノベーションして活用すると移住者を呼び込む。 ◆空家を安く買ったり借りれるようにして、起業や移住してもらう。 ◆空家をおしゃれにリノベーションして販売。放置されてるより良い。 ■企業や行政との連携を強化し、組織の風通しと柔軟性を高める。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆人が温かい。 ◆職業体験の受け入れ先が多い。 		<ul style="list-style-type: none"> ◆若者が選挙に行くように、選挙の投票証を映えるものにする。



B 班意見交換の様子



C 班意見交換の様子



結結果発表の様子

五泉市の新たな将来像 (キャッチフレーズ)

- お祭り、新潟市に近い、ニット、川、水、自然の音 ゴセンチ、大自然だけど住める街、自然
- ◆ひゃんでをつくろう、五泉にわくわく、広い住まい、のびのび子育て、ともに育むともに生きる、心豊か暮らし豊か、もっと五泉、守り創り広げる五泉
- 心も身体もいやされる五泉市、絶景移住、五泉市に住めばもう安心！みたいなもの、みんな生き生き五泉市、五泉うまい（美味しい、上手い）、新潟県で一番子どもが喜ぶ五泉市に！！、パワースポット